

ご利用者のみなさまへ 補聴器のご案内

ご利用者のみなさまが、周りのみなさまとより快適に生活されるためには、会話による人とのつながりがとても大切です。

そのお手伝いとして、補聴器の装用をおすすめいたしております。

どうぞお気軽にお問い合わせ下さいませ。

(公財)テクノエイド協会認定補聴器専門店(第17-1494号)
よりよい聞こえのパートナー (メガネの木藤内)



なんよ 補聴器センター

宇和島きさいやロード(袋町商店街)

TEL.0895-25-2255(代)

P お客様専用駐車場あります

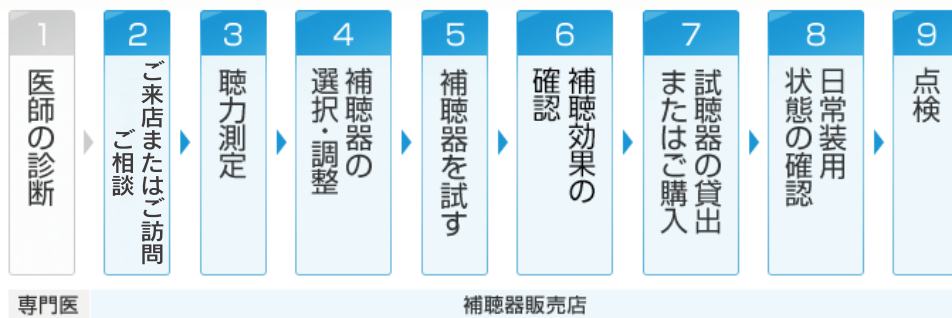
ホームページ kito-tokei.com

【営業時間】 9:30~18:00 【定休日】 木曜日

◎ご訪問もいたします。 ◎毎月第4金曜日 相談会開催。

**試聴貸出
無 料**

補聴器購入の流れ



1. 医師の診断

「聞こえにくくなった」と周囲の方から言われたり、ご本人が自覚されたりしたら、耳鼻科を受診されることをお勧めします。

難聴の原因によっては、治療可能な場合もありますので、自己診断は禁物です。耳鼻科医に難聴の診断を受け治療の必要がない場合、補聴器の使用をご検討ください。



2. ご来店またはご訪問・ご相談

専門の販売員がお客さまの状況や要望をお聞きします。お客さまの生活スタイルや、補聴器に対する気持ちをお聞きすることは、適切な補聴器選びには欠かせないことです。

3. 聴力測定

補聴器を選定するために、聴力を測定します。

4. 補聴器の選択・調整

聴力とご要望に応じた補聴器を選択し、聴力に合わせた調整を行います。



5. 補聴器を試す

実際に補聴器を装着してみます。販売員やご家族やお付き添いの方と会話したり、周りの様々な音を聞いたりしてみます。

6. 補聴効果の確認

聴力測定と同じような方法で、補聴器をつけた状態で測定を行います。この結果により、客観的な補聴器の効果がわかります。



7. 試聴器の貸出またはご購入

装用や効果測定に問題がなければ、電池の出し入れや耳への装着も実際にやってみます。使いやすさも補聴器選びには重要です。

試聴器の貸出しも行っておりますので、ご自宅や施設での環境で使ってみることもお勧めします。補聴器の聞こえや使い方に納得されたらご購入していただきます。



8. 日常装用状態の確認

補聴器を日常装用されると、様々な音に出会います。それらの音に不具合がある場合は、補聴器の調整を行う必要がありますので、遠慮なくお申しつけください。補聴器には微調整が大切です。

9. 点検

順調にお使いになっても、定期的な点検に出すことをお勧めします。汚れなどで補聴器の音がきちんと出ていないと、聞こえにも影響があります。



補聴器の種類

補聴器の形状

補聴器にはいろいろな形状があり、それぞれ使い勝手が違います。聞こえの状態、使いたい場所、環境や生活スタイルなどに応じて選びます。

ポケット型補聴器

補聴器としては最初に作られた形で小型ラジオのようなスタイルです。スイッチやボリュームの操作部分が大きく、手で見ながら操作できるので、操作しやすいタイプです。また、補聴器本体にもマイクがついているので、本体を聞きたい音に近づけることができます。寝ている姿勢などでも、本体を置く位置によって音の集音方向を決められます。電池は単三または単四の乾電池です。



32,000円～（非課税）

耳かけ型補聴器

耳の上にかけて使うタイプの補聴器です。比較的目立ち難く、扱いやすい大きさです。種類も多く、価格も幅広くそろっています。小型タイプは耳の後ろに隠れて目立ちにくいです。色のついた補聴器もあるので、おしゃれ感覚でも装着できます。



47,000円～（非課税）

既成耳あな型補聴器

耳の穴に入れるタイプの既製品です。器種の数多くありませんが、手ごろな価格の補聴器です。ただし、形状はオーダーメイドではないので、耳の形状に合わない場合もあります。



74,000円～（非課税）

耳あな型オーダーメイド補聴器

耳の穴に入れるタイプの補聴器で、使われる方の聴力や耳の形状に合わせて、ひとつひとつ作られる「個人別注文品」です。ほかのタイプの補聴器と比べ、各々の耳の形状と聴力に合わせて製作されているため、音もれによるハウリングも少なく聞こえを改善しやすいタイプです。また、補聴器のマイクが耳の穴の位置にあるので、自然に近いかたちで音をとらえることができます。外見上も目立たない補聴器です。ご注文から約一週間で出来上がります。



124,000円～（非課税）

※価格は予告なく変わることがあります。

なんよ補聴器センターは認定補聴器専門店です。

補聴器取扱店の中でも、認定補聴器専門店は、公益財団法人テクノエイド協会に認定された補聴器店です。「認定補聴器技能者」が在籍し、設備機器の認定調査基準をクリアした店だけに与えられる資格です。耳鼻咽喉科との連携もしています。



認定証書



認定プレート



ステッカー

補聴器は、カタログや写真だけで選べるような商品ではありません。ご使用になる方の聴力や、使う環境などに応じて選び、適切な調整をしないと役に立ちません。補聴器のプロがお客さまの様々な状況、ご要望に合わせた補聴器のご紹介をさせていただきます。



アフターケア (調整サービス)

補聴器販売店とは長いお付き合いを

お客さまにずっと補聴器を使い続けていただくために、アフターケアを行い、お客さまの間こえを支え続けます。ちょっとしたことでもお気軽にご相談いただき、長いお付き合いをしていただくことを願っています。

補聴器の調整

補聴器を購入された後も、使う環境に合わせた調整や、聞こえの程度の変化に対応した調整など、補聴器を効果的に使うために調整は随時行います。お気軽にご依頼ください。



補聴器の点検・掃除

補聴器は耳に装着するため、耳あかや汚れがついたり、詰まったりします。汚れが詰まっていると、音は出ていても本来の性能通りの音ではない場合もあります。日頃のお手入れではできない細かい部分の掃除は、専用の機械を使って行います。点検・掃除は補聴器を長持ちさせるためには大切なことです。定期的に補聴器店へご依頼ください。

補聴器の修理

補聴器の修理は、店頭で行うことができるものと、工場へ送って行うものがあります。工場へ送る場合は、日数がかかりますのでご了承ください。

電池の販売

補聴器に使う電池は、空気電池と言って補聴器専用電池です。(ポケット型を除く。)

難聴の方を介護されている方へ

明るく楽しい介護生活のために

身体が不自由になり介護を受ける方にとって、周囲の方との会話は生活を豊かにする大切なものです。介護を受ける方が難聴の場合、介護する方は大きな声で話したり、何度も繰り返して話したり、と大変なこともあるかと思います。

介護現場でも、なるべく多くの会話を楽しんでいただくために、難聴の方には補聴器装用をお勧めください。ご自宅や施設への訪問相談・販売も行っております。どうぞお気軽にお問い合わせくださいませ。

生活スタイルに合わせて

使う方の状況に合わせて様々な形状の補聴器をご用意しています。介護を受ける方の生活スタイルに応じて補聴器をお選びください。

補聴器を使うときにお手伝いいただきたいこと

補聴器を使われる方がご自身で操作できない場合は、周囲の方がお手伝いいただけますようお願い申し上げます。

- ・補聴器の装着
- ・電源の入切
- ・ボリュームの操作(ボリューム付の補聴器の場合)
- ・電池の交換
- ・補聴器の掃除

補聴器によって、介護を受ける方と介護される方の会話がはずみ、明るく豊かな生活を送っていただけることを願っています。

補聴器をお使いの方への話し方・接し方



「ゆっくり」「はっきり」「区切って」話しましょう

難聴になると耳からの情報を素早く処理することが困難になります。そのため、補聴器を装着しても早口で話されると内容が理解し難しくなります。「補聴器屋さんではよく聞こえたのに……」、という声をよく耳にします。補聴器販売店の販売員は「ゆっくり」「はっきり」「区切って」話すことを心がけているからです。口の中でもったような話し方やボソボソといった話し方は、聞こえに困らない方でも聞き取り難いものです。難聴になると、このような発音は極めて聞きにくくなります。聞こえにくくなった方に話すときは、特に、「ゆっくり」「はっきり」「区切って」話すことを心がけてください。

顔を見せて話しましょう



聞こえに困らない人も騒がしい場所では、無意識のうちに、相手の顔や口元を見てことばを判断していることがあります。この場合、耳からの情報だけでは足りず、目からの情報もコミュニケーションの助けとなっているのです。こうしたことから、聞こえにくくなった方と話すときは特に、正面からお互いの表情や口元が良く見えるようにしてください。特に、数字や初めて聞く人の名前などは聞き間違いやすいので、文字を書いて見せると確実にスムーズに話が進みます。

言い方を変えてみましょう

相手が聞き取りにくい場合、大声で何度も繰り返すのではなく、別の言い方に変えてみてください。例えば、「明日はしちにん(7人)集まります」→「明日はななにん(7人)集まります」などです。特に、数字や初めて聞く人の名前などは聞き間違いやすいので、文字を書いて見せると確実にスムーズに話が進みます。

騒音を減らしましょう

難聴になると、音の選別が難しくなります。騒音の影響を受けやすく、聞こえに困らない人にとってはなんでもない周りの音が、聞き取りの邪魔になるのです。家庭内で会話をするときは、テレビやラジオ等の音はなるべく小さくして、ことばが聞きやすくなるよう配慮してください。

必要以上に大きな声で話しかけないでください



補聴器は、聴力に応じて音を増幅しています。必要以上に大きな声で話しかけられると、耳や頭がガンガンする不快感を与えることがあります。距離が遠いような場合は大きさも必要ですが、それ以上にはっきり話す明瞭さが大切です。